

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月05日

計画の名称	香深港における港湾利用の効率性・安全性の向上													
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	礼文町													
計画の目標	老朽化した施設の計画的な改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		450	A	450	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用に支障が生じているため岸壁の改良により効率性・安全性の向上を図る。 施設利用に支障が生じている新港中央岸壁の改良により、施設の危険箇所を解消率を算出する。 (対策済み施設の割合) = (不陸や段差、水溜り等の危険箇所が解消された施設面積) / (整備計画面積)	0%	100%	100%
2	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用を規制しているため物揚場の改良により効率性・安全性の向上を図る。 利用規制している物揚場の整備により、利用可能となる面積を算出する。 (対策済み施設の割合) = (利用可能となる面積) / (利用規制している面積)	0%	100%	100%
3	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用に支障が生じているため船揚場の改良により効率性・安全性の向上を図る。 施設利用に支障が生じている北船揚場の改良により、施設の危険箇所を解消率を算出する。 (対策済み施設の割合) = (陥没や段差、欠損等の危険箇所が解消された施設面積) / (整備計画面積)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	礼文町	直接	礼文町	地方	改良	岸壁整備事業	上部工、舗装工、付属工改修	香深港(本港地区)						122	-	
	A02-002	港湾	北海道	礼文町	直接	礼文町	地方	改良	係留施設整備事業	第二物揚場改修	香深港(本港地区)						218	-	
	A02-003	港湾	北海道	礼文町	直接	礼文町	地方	改良	船揚場整備事業	北船揚場改修	香深港(本港地区)						110	-	
											小計						450		
											合計						450		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 礼文町産業課において実施	事後評価の実施時期 令和8年1月
	公表の方法 礼文町のHPで公表する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	礼文町管理の港湾施設における改修が必要な施設の完了割合の向上
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	老朽化した港湾施設の改修を行った箇所については、利用者及び地域住民にとって安心・安全な港湾環境が形成された。
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	100%	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%
2	100%	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%
3	100%	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%